

8月12日 西原バッファローズ 九州大会3位入賞!

7月に行われた「第19回嘉麻の里杯争奪」九州選抜少年軟式野球大会で第3位の成績を収めた西原バッファローズ(西原小学校)が報告のため、町役場を訪れました。

儀間慎之介キャプテン(6年)は「コロナの影響もあったが、みんなで練習を頑張った。その努力が今回の大会の成績につながったと思う。これまで支えてくれた家族や監督、地域の皆様へ感謝したい」と話しました。

崎原町長は「九州大会で65チーム中第3位となり、西原町の誇りと思う。今回の経験を皆さんの糧にして、これからも頑張ってもらいたい」と激励しました。



8月12日 西原東中学校女子バレーボール部 ビーチバレーボール全国大会派遣報告

西原東中学校女子バレーボール部が、第37回ビーチバレーOKINAWA 2025(4人制中学女子)で見事に優勝を果たし、優勝報告と全国大会への意気込みを伝えるため、町役場を訪れました。

嶺井珠心キャプテン(2年)は「全国大会では、2勝して予選リーグ突破を目標に頑張りたい」と全国大会での意気込みを伝えました。

崎原町長は「バレーボールのまちで育った皆さんだからこそ一戦一戦勝ち抜いてきて優勝にたどり着いたと思う。全国大会でも優勝を目指して最後まで諦めずに頑張ってもらいたい」と声援を送りました。



8月13日 ピティナ・ピアノコンペティション全国大会 西原から2組出場!

神谷朱莉さん(西原南小学校6年)と前川嬉咲さん(坂田小学校6年)がピティナ・ピアノコンペティション沖縄(那覇)地区本選 連弾部門 連弾初級Cで第1位に輝き、全国大会出場報告のため、町役場を訪れました。今回、同席できなかった新城笑菜さん(西原小学校2年)と屋比久恵理さん(西原小学校2年)も同大会の連弾初級Aで第1位に輝き、全国大会へ出場します。

神谷さんは「本選1回目に指摘されたところを直し、2回目に挑んだら最優秀賞になることができうれしかった。全国大会では、同じ曲を弾くので今まで練習してきた成果を出せるように頑張っていきたい」と話し、前川さんは「本選1回目では、上手な人が多く、入賞できなかったのが、2回目もだめかと思っていたら最優秀賞をとれてうれしかった。全国大会では、入賞できるように頑張りたい」と大会への思いを語りました。

崎原町長は「西原町から2組も全国大会へ出場することはとても名誉なことだと思う。沖縄の代表として全国大会で上位を目指し、頑張ってもらいたい」と激励しました。



8月14日 西原中学校男子バレーボール部 全国大会派遣報告

西原中学校男子バレーボール部が第58回九州中学校バレーボール競技大会で第3位に輝き、全国大会派遣報告のため、町役場を訪れました。

新垣柊弥キャプテン(3年)は「九州大会では、敗者復活戦から決勝トーナメントに参加したが、みんなで声を掛け合って、ベスト4まで勝ち進むことができた。全国大会では、1つでも多く勝ち進めるようにみんなと頑張っていきたい」と意気込みを語りました。崎原町長は「九州大会で第3位という報告を受け、大変うれしく思う。バレーボールはチームプレーなので、お互いをカバーし合いながら全国大会を頑張ってもらいたい」と声援を送りました。



8月15日 U-19世界選手権大会出場報告

崎山陽生さん(首里高校3年)が令和6年8月にバーレーンで開催された男子バレーボールU-18アジア選手権大会で第4位となり、令和7年7月にウズベキスタンで開催された男子バレーボールU-19世界選手権に出場したという報告のため、町役場を訪れました。

崎山さんは「アジア選手権大会では第4位、世界選手権大会では第16位という結果に終わってしまったが、試合に出たり、相手のプレーを見たりと色々吸収できる部分があったのでいい経験になったと思う」と話していました。

崎原町長は「今回の大会では、色んなことを吸収して学ぶことが多かったと思う。今回の経験を活かし、さらに成長し、活躍できることを期待している」と激励しました。



8月17日 創作太鼓集団棚原弥勒太鼓 20周年記念公演

棚原弥勒太鼓20周年記念公演がさわふじ未来ホールで行われ、大勢の観客の前で迫真の演舞を披露しました。また、阿波根直子琉舞研究所と獅舞風(shimakaji)の皆さんとも共演し、力強い太鼓の音と一糸乱れぬ華麗なパフォーマンスで観客を魅了しました。最後には、発足当時から踊り続けている「祈りで始まり祈りで終わる」ことをテーマにした「ミルク世界報ぬしるし」を披露し、棚原区の「伝統」であるミルク神「弥勒菩薩」をエイサーを通して伝えていました。

棚原弥勒太鼓の糸数善将代表は「創作から始まった棚原弥勒太鼓の歩みは、地域の想いと共に育まれ、今では次の世代へと受け継がれる“伝統”の形を帯び始めている。これからも、この太鼓に込められた魂を大切に、地域に根ざした文化として継承し続けていきたい」と熱い思いを語りました。



8月19日 東部消防組合表彰(功労表彰)式

砂川雄二さん、山城真倫さんは、令和7年4月19日に西原町上原の共同住宅で発生した火災において、早期の初期消火活動、119番通報など消防活動に協力を行いました。火災発見と初期消火、119番までの時間が経過していれば室内全体および全室などへ延焼拡大していた可能性も十分あったことから、その功績が称えられ、東部消防組合消防本部より、表彰状と記念品が贈られました。

砂川さんは「本当に大事に至らなくてよかった。煙を見て、まだ間に合うと思い、助けに行った。部屋の中に消火器があれば、もっと早く助けに行けたと思う。今回で消火器の必要性を改めて感じた」と当時の状況を振り返られていました。

山城さんは、今回残念ながら表彰式へは都合が合わず、不参加となりました。



砂川雄二さん

8月24日 県内初! ダブルダッチ沖縄大会

沖縄県内初開催となる「freely OKINAWA ROUND」が西原さわふじマルシェで開催され、チャレンジ部門12名、アドバンス部門29名が出場しました。freelyとは、最も自由な15歳以下のダブルダッチ(2本のロープを使うなわとび)ソロプレイヤーを決めるバトル大会です。沖縄大会では、アドバンス部門の上位3名に全国大会の出場権が与えられます。厳選なる審査の結果、チャレンジ部門では、新里多笑さん(9歳)が優勝、アドバンス部門では、浅川永和さん(13歳)が優勝しました。

新里さんは「友達の分も頑張って優勝できたので、ずっとダブルダッチを続けたいと思う」と話しました。浅川さんは「今まで全国大会に出場できなかったのが、やっと優勝できてよかった」と熱い思いを語っていました。

令和7年10月15日に西原さわふじマルシェ 西原劇場でダブルダッチスクールが開講することに伴い、無料体験会が実施されます。詳しい内容は右記の「無料体験会申込」QRコードよりご確認ください。



無料体験会申込

浅川永和さん